

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		公園施設調査修繕事業				事業期間	令和３年度 ～ 令和12年度								
事業性質区分	新規・継続	新規(掲載)	建設・建設外	建設	第7期総合計画の位置付け	5-5-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	所管課係	土木課維持係	
目的 (何のために実施するのか)	公園の適切な点検を行いつつ、長寿命化計画に基づき、公園施設（遊具等）の修繕を行うことにより安全に公園を利用してもらう。							手段 (どのような方法で実現するのか)	平成25年度に作成した公園の長寿命化計画に基づき、修繕を行いつつ、毎年遊具の点検を行い健全度の低い遊具を優先的に修繕工事を行い維持管理をする。また、都市計画係で見直す予定の都市計画マスタープラン及び緑の基本計画を基本に今ある対象の 2,049 施設の砂川市公園施設長寿命化計画を見直し（公園施設の再編等を検討）、適正な公園の維持管理を行う。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	市内の都市公園（25公園）							成果 (どのような効果が得られるのか)	遊具等の使用時の事故が未然に防止され、使用者の安全が確保される。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		平成25年度に公園施設長寿命化計画に基づいて、計画的に修繕を進めてきております。令和5年度に公園施設長寿命化計画の見直しを行い新たな計画に基づき事業を実施しております。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	
投入された事業費の推移	国 費	計 画 額			5,250,000	5,250,000		20,000,000	20,000,000	40,000,000	20,000,000	20,000,000	2,000,000	2,000,000	44,000,000	89,250,000
		予算計上額			0	0				0					0	0
		実 績 額			0	0				0					0	0
	道 費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	地 方 債	計 画 額			5,200,000	5,200,000		20,000,000	20,000,000	40,000,000	20,000,000	20,000,000	2,000,000	2,000,000	44,000,000	89,200,000
		予算計上額			0	0				0					0	0
		実 績 額			0	0				0					0	0
	そ の 他	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実 績 額				0				0					0	0
	一 般 財 源	計 画 額	1,890,000	2,000,000	1,350,000	5,240,000	6,362,000	982,000	1,002,000	8,346,000	1,022,000	1,042,000	1,062,000	1,082,000	4,208,000	17,794,000
		予算計上額	1,210,000	1,200,000	5,500,000	7,910,000	6,362,000	5,099,000	5,741,000	17,202,000					0	25,112,000
		実 績 額	1,166,000	1,144,000	5,456,000	7,766,000	6,237,000	4,708,000		10,945,000					0	18,711,000
	事業費合計	計 画 額	1,890,000	2,000,000	11,800,000	15,690,000	6,362,000	40,982,000	41,002,000	88,346,000	41,022,000	41,042,000	5,062,000	5,082,000	92,208,000	196,244,000
		予算計上額	1,210,000	1,200,000	5,500,000	7,910,000	6,362,000	5,099,000	5,741,000	17,202,000	0	0	0	0	0	25,112,000
		実 績 額	1,166,000	1,144,000	5,456,000	7,766,000	6,237,000	4,708,000	0	10,945,000	0	0	0	0	0	18,711,000
	事業費予算の内容		3公園 (修繕遊具3基)	4公園 (遊具修繕4基) 3公園 (遊具撤去3基)	6公園 (遊具修繕8基) 1公園 (ベンチ撤去25基)		5公園 (遊具修繕6基) 点検委託	3公園 (遊具修繕6基) 2公園 (遊具撤去5基) 点検委託	5公園 (遊具修繕3基、遊具移設3基) 6公園 (遊具撤去8基)							
	前年度予算との比較 (増減理由)		—	10千円の減額	点検結果に基づいた修繕が必要な遊具の増による4,300千円の増額		点検委託料の増	修繕工事費の減	修繕工事費の増							
	実績との比較 (増減理由)		見積り合わせによる減	見積り合わせによる減	入札による減		入札による減	入札による減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：修繕公園施設数				指標の求め方：修繕公園施設数									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：計画内における修繕公園施設進捗率				指標の求め方：修繕公園施設延べ数 / 計画施設数									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/箇所)	計画値	3	3	3		3	3	3		3	3	3	3		
			実績値	3	4	8		6	6								
		成果指標 1 (単位/%)	計画値	-	-	-		-	-	-		-	-	-	-		
			実績値	-	-	-		-	-	-							
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					達成されている				達成されている						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっている				変わらない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					あまり上がっていない				変わらない						
		総合評価					問題がある				良好である						
		総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析		自己分析： 3公園の3基の遊具について修繕を行ったが、今後、点検の結果に基づき、状況に応じて次年度以降、予算要求していきたい。	自己分析： 4公園の4基の遊具について修繕を行い、3公園3基の遊具について撤去を行ったが、遊具使用中に事故が起きてしまったことから、再発防止のため春先の公園開放に向けた遊具の目視点検をこれまで以上にしっかりと行っていききたい。合わせて遊具の修繕についても時期をなるべく早めて発注していききたい。今後も点検の結果に基づき、状況に応じて次年度以降、予算要求していききたい。	自己分析： 6公園の8基の遊具について修繕を行った。遊具の点検時期について点検業者と調整を行ったが7月の予定となったため春先の遊具開放時には、昨年の点検結果も踏まえ、職員による確認を行い、遊具の開放を行った。	判断理由： 公園施設長寿命化計画を基本とするが、前年の点検結果を踏まえ予算要求を行い、より安全な施設の利用が出来るよう事業を進めているが、令和4年度に遊具使用中に事故があったことから「問題がある」とした。	自己分析： 5公園の6基の遊具について修繕を行った。遊具の点検時期について点検業者と調整を行ったが昨年同様7月の予定となったため春先の遊具開放時には、昨年の点検結果も踏まえ、職員による確認を行い、遊具の開放を行った。	自己分析： 3公園の6基の遊具について修繕を行った。遊具の点検時期について点検業者と調整を行ったが昨年同様7月の予定となったため春先の遊具開放時には、昨年の点検結果も踏まえ、職員による確認を行い、遊具の開放を行った。	自己分析： 令和5年度に見直しを行った公園施設長寿命化計画を基本として、毎年度行っている遊具点検の結果を踏まえ、修繕が必要なものから順に実施してきており、令和4年度に起きたような遊具の使用に伴う事故が起きる事のないよう、職員による現地確認も含め、適切に修繕対応してきているため、「良好である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
	今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続							
方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)			R5： 令和5年度に公園施設長寿命化計画の見直しを行っているが、施設数も多く、老朽化も進んでおり、維持管理には、費用が増大する傾向である。利用状況やニーズも踏まえ施設の在り方について検討が必要であることから「現状のまま継続」とする。				R8： 公園施設長寿命化計画は設置から年数が経過して老朽化した遊具等の施設が多数ある中で、事故の未然防止や、長期的なメンテナンスコスト削減、予算を平準化する観点からも大変重要な計画ではありますが、それに加えて、毎年度実施している点検と合わせて考える事で、実状に見合った計画的な修繕を行うことができることから「現状のまま継続」とする。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	×
--------	---	--------	---

事業名	町内会による街区公園管理事業				事業期間	平成23年度 ～ 令和12年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画の位置付け	5-5-1	他に関連する基本事業	6-1-1	-	-	-	-	所管課係	土木課維持係
目的 (何のために実施するのか)	町内会の協力を得て街区公園の管理を行うことで、市民と協働のまちづくりの意識を高めてもらうとともに、地域住民に、親しまれる公園を目指す。							手段 (どのような方法で実現するのか)	地域住民・町内会に街区公園の管理について協力を働きかけ、奉仕活動に対して謝礼を支出している。					
対象 (誰・何を対象としているのか)	街区公園、町内会。							成果 (どのような効果が得られるのか)	地域のコミュニティ活動行事の一つとして位置づけられ、市民と協働のまちづくりの理解が深まり、より地域住民に親しまれる公園となる。					
事業開始時の状況・これまでの経緯		地域住民・町内会に理解と協力を働きかけ、街区公園の管理（主に草刈り）を住民の奉仕活動により実施している。 令和5年度現在10箇所の街区公園で実施されている。												

【DO】

実績

(単位：円)

				第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画計
				第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地方債		計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	その他		計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	一般財源		計画額	280,000	280,000	280,000	840,000	265,000	265,000	265,000	795,000	265,000	265,000	265,000	265,000	1,060,000	2,695,000
			予算計上額	280,000	280,000	280,000	840,000	265,000	225,000	135,000	625,000					0	1,465,000
			実績額	280,000	265,000	265,000	810,000	265,000	135,000		400,000					0	1,210,000
	事業費合計		計画額	280,000	280,000	280,000	840,000	265,000	265,000	265,000	795,000	265,000	265,000	265,000	265,000	1,060,000	2,695,000
			予算計上額	280,000	280,000	280,000	840,000	265,000	225,000	135,000	625,000	0	0	0	0	0	1,465,000
			実績額	280,000	265,000	265,000	810,000	265,000	135,000	0	400,000	0	0	0	0	0	1,210,000
	事業費予算の内容			市内11公園	市内11公園	市内11公園		市内10公園	市内9公園	市内6公園							
	前年度予算との比較 (増減理由)			前年度同額	前年度同額	前年度同額		町内会の人手不足により1公園減による15千円の減	町内会の人手不足により1公園減による40千円の減	町内会の人手不足により3公園減による90千円の減							
	実績との比較 (増減理由)			同額	町内会の人手不足により1公園減	町内会の人手不足により前年度同様1公園減		同額	町内会の人手不足により3公園減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）	指標名：協力団体の数	指標の求め方：実施団体の数（予定箇所数：全 11 箇所）
成果指標 1（「成果」をもとに設定）	指標名：協力団体の数	指標の求め方：実施団体の数（協力団体が増えることで地域コミュニティの活性化が図られ、協働の理解が深まった成果と捉えられることから活動指標と同じ指標とした）

			第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総 合 計 画 計	
			第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計		
事業 業務 評価	指標	活動指標 1 (単位/団体)	計画値	11	11	11		11	11	11		11	11	11	11		
			実績値	11	10	10		10	6								
		成果指標 1 (単位/団体)	計画値	11	11	11		11	11	11		11	11	11	11		
			実績値	11	10	10		10	6								
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)					ほぼ達成されている				あまり達成されていない						
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)					上がっていない				上がっていない						
		事業の効率性 (事業費に対する成果)					変わらない				変わらない						
		総合評価					普通である				普通である						
			総合評価の判断理由または指標の実績値に関する自己分析	自己分析：公園の草刈り作業を町内会単位で行って貰っているところ、町内における活動人員の確保や草刈り面積の見直し等課題があり、今後、町内会に協力要請する中で改善が必要と考える。	自己分析：昨年の協力団体が11団体だったのに対し人員不足により1団体減って10団体となったため、対策として、例えば協力団体で行う草刈面積を縮小し、その分公園の維持管理委託の草刈面積を増やすことで協力団体の負担を軽減するといった作業負担を減らすような方法を考え、人手不足で協力を断念せざるを得ない町内会に提案するといったことも視野に入れた改善が必要と考える。	自己分析：昨年同様10団体の実施となっており昨年は協力団体の作業負担を減らす方法の提案が課題となっていたが、それでも10町内会の方々が公園の草刈を実施して下さったことを踏まえ「普通である」とした。	判断理由：令和 4 年度に協力団体が人員不足により 1 町内作業負担を減らす方法の提案が課題となっている。また、シルバー人材センターにより市内公園の維持管理委託を実施しているが人手不足でもあり作業増については、懸念があります。以上ことから作業負担を減らす方法か委託方法の検討が必要がある。	自己分析：昨年同様10団体の実施となっており協力団体の作業負担を減らす方法の提案が課題となっている。また、シルバー人材センターにより市内各公園の維持管理委託を実施しているが人手不足でもあり作業増については、懸念がある。以上ことから作業負担を減らす方法か委託方法の検討が必要である。	自己分析：協力団体の人員不足や高齢化等の影響から、昨年 4 団体減り、6 団体の実施となっており協力団体の作業負担を減らす方法の提案が課題となっている。また、シルバー人材センターにより市内各公園の維持管理委託を実施しているが人手不足でもあり作業増については、懸念がある。以上ことから作業負担を減らす方法か委託方法の検討が必要である。	自己分析：協力団体の人員不足等により、作業の実施が出来ないという団体が増えてきている。その分の作業については、シルバー人材センターの市内各公園維持管理委託の中で草刈り作業等行ってきたり、町内会での作業では縮小傾向にありますが、いまだ協力団体は 6 団体あることと、シルバー人材センターの委託内で、作業が行えていることから、「普通である」とした。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：		
		今後の方向性					現状のまま継続				現状のまま継続						
	方向性の判断理由 改善、改革の内容 (R5、R8、R10)		R5： 「町内会による街区公園管理事業」については、町内会の協力を得て街区公園の管理を行うことで、市民と協働のまちづくりの意識を高めてもらうとともに、地域住民に、親しまれる公園を目指していくことは市にとっても経費削減に繋がり、市民にとっても引き続き公園に親しみを持っていただく必要性があることから「現状のまま継続」とした。				R8： 協力団体の数は縮小傾向にあるところではありますが、継続して協力していただいている団体も多数あることから、今後の公園全体を考えた維持管理方法は検討していく必要はありますが、現在、協力していただいている協力団体の意向を尊重し、事業の方向性としては、「現状のまま継続」と判断した。				R10：						

第 7 期 総 合 計 画 事 務 事 業 進 行 管 理 調 書

【PLAN】

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載	×	過疎計画掲載	○
--------	---	--------	---

事業名		公園整備事業				事業期間	令和3年度 ～ 年度								
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設	第7期総合計画の位置付け	5-5-1	他に関連する基本事業	—	—	—	—	—	—	所管課係	都市計画課都市計画係
目的 (何のために実施するのか)	都市公園の整備							手段 (どのような方法で実現するのか)	砂川市緑の基本計画に則し、砂川市公園施設長寿命化計画と連携し、砂川市公園整備計画を策定し、計画に基づき公園の集約整理とともに、機能更新工事やバリアフリー化工事を実施する。						
対象 (誰・何を対象としているのか)	都市公園							成果 (どのような効果が得られるのか)	市内の公園の整理縮小と機能向上を組み合わせ、人口減少に対応した、より市民に親しまれる公園とする。						
事業開始時の状況・これまでの経緯		公園や緑地は、環境保全・レクリエーション・防災・景観構成など、まちづくりにおいて多様な役割を果たしているが、公園の施設は今後も老朽化の進行が見込まれることから、公園施設長寿命化計画に基づき適切な管理に努め、日常利用における需要と供給の均衡と公園の防災機能の確保を考慮し、公園のあり方を検討のうえ、集約・再編・再整備を検討し、計画的に修繕・整備を実施していく。 また、オアシスパークは、広域レクリエーションの拠点としてより楽しめる空間とするため、河川管理者の国と連携を図りながら、整備に向けた取り組みを進める。 ・令和3年度にオアシスパークふれあい広場駐車場整備工事として、駐車場（94台）2,448平方メートル、駐車場通路110平方メートルの整備を実施。 ・令和5年度に南吉野公園の中型滑り台1基、晴見公園の雲梯1基を更新。 ・令和7年度に南吉野公園の大型ブランコ1基・鉄棒1基・シーソー1基、新町公園の大型遊具1基、やまびこ公園の大型ブランコ1基、新石山公園の大型ブランコ1基、北光公園の転落防止柵157m、日之出公園の照明灯5基、西公園の鉄棒1基、こもれびのプラザの照明灯1基、流れのプラザの照明灯2基、オアシスパークのベンチ2基を更新。													

【DO】

実績

(単位：円)

			第1次実施3カ年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4カ年計画					第7期 総合計画 合計
			第1年次 (3年度)	第2年次 (4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合計	第4年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合計	
投入された事業費の推移	国費	計画額			5,000,000	5,000,000				0			2,750,000	5,500,000	8,250,000	13,250,000
		予算計上額				0		28,900,000		28,900,000					0	28,900,000
		実績額				0		23,183,000		23,183,000					0	23,183,000
	道費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地方債	計画額	46,200,000			46,200,000				0					0	46,200,000
		予算計上額				0		26,000,000		26,000,000					0	26,000,000
		実績額			1,800,000	1,800,000		23,700,000		23,700,000					0	25,500,000
	その他	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	一般財源	計画額	37,000	0	5,000,000	5,037,000			5,500,000	5,500,000	1,100,000	1,100,000	2,750,000	5,500,000	10,450,000	20,987,000
		予算計上額	46,237,000	0	0	46,237,000		2,999,000	0	2,999,000					0	49,236,000
		実績額	46,169,750	0	400,000	46,569,750		2,639,000		2,639,000					0	49,208,750
	事業費合計	計画額	46,237,000	0	10,000,000	56,237,000	0	0	5,500,000	5,500,000	1,100,000	1,100,000	5,500,000	11,000,000	18,700,000	80,437,000
		予算計上額	46,237,000	0	0	46,237,000	0	57,899,000	0	57,899,000	0	0	0	0	0	104,136,000
		実績額	46,169,750	0	2,200,000	48,369,750	0	49,522,000	0	49,522,000	0	0	0	0	0	97,891,750
	事業費予算の内容		工事請負費 45,000千円 給料1,237千円	-	-		-	委託料500千円 工事請負費 57,399千円	事業なし							
	前年度予算との比較 (増減理由)		工事請負費の増 給料の増（工事 請負費の 2.75%）	工事請負費の減 給料の減（工事 請負費の 2.75%）	増減なし		増減なし	公園長寿命化計画に基づく、工事請負費の増	事業なし							
	実績との比較 (増減理由)		入札による工事請負費の減 振替による給料の減	-	公園遊具更新工事請負費の増 (6月補正予算計上)		-	入札による工事請負費の減								

【CHECK・ACTION】

指標の推移・評価

活動指標 1（「手段」をもとに設定）				指標名：工事実施率				指標の求め方：実施箇所/予定箇所									
成果指標 1（「成果」をもとに設定）				指標名：整備率				指標の求め方：整備面積／整備計画期間の整備									
				第 1 次実施 3 力年計画				第 2 次実施 3 力年計画				第 3 次実施 4 力年計画					第 7 期 総合計画
				第 1 年次 (3年度)	第 2 年次 (4年度)	第 3 年次 (5年度)	実施 3 力年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第 5 年次 (7年度)	第 6 年次 (8年度)	実施 3 力年 合 計	第 7 年次 (9年度)	第 8 年次 (10年度)	第 9 年次 (11年度)	第 10 年次 (12年度)	実施 4 力年 合 計	
事業 評価	指標	活動指標 1 (単位/%)	計画値 100	0	0		0	0	0		0	0	0	100			
		実績値	100	-	-		-	-									
	成果指標 1 (単位/%)	計画値	0	0	0		0	0	0		0	0	0	100			
	実績値	100	-	-		-	-										
	評価内容	事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				あまり達成されていない				ほぼ達成されている							
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				変わらない				変わらない							
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				変わらない				変わらない							
		総合評価				普通である				普通である							
		総合評価の判断理由 または指標の実績値に関する自己分析	自己分析： 令和 2 年に、国は、市の要望に基づき砂川遊水地河川敷を中心とした砂川オアシスパーク地区に対して、河川法等の規定による都市・地域再生等利用区域の指定を行ない、「砂川地区かわまちづくり計画」に基づき、官民協働により観光資源としての利活用を推進していくこととなり、開発局滝川河川事務所が、遊水地の中核施設である遊水地管理棟駐車場拡張整備の実施に併せて、都市公園オアシスパークふれあい広場に、公園利用者のための駐車場整備を行い、利活用の推進が図られた。	自己分析： 令和 4 年度は事業を実施していないことから、公園整備事業としての評価には繋がらないが、公園施設長寿命化計画に基づき、定期点検等を行い適正な管理に努め、必要に応じて整備を進めていく。	自己分析： 平成25年度に策定した公園施設長寿命化計画（計画期間H27～H36）に基づき、施設の維持修繕を行っているが（実績額は公園施設調査修繕事業に計上）、最新の公園遊具点検結果を踏まえ、緊急性を要する2基の遊具を更新した（更新のため実績額は公園整備事業に計上）。計画値が「0」のため、活動指標、成果指標共に数値は「-」と記載した。今後は、現状の公園利用状況や配置、維持管理費等を踏まえ、将来の公園整備のあり方について検討するに当たり、令和5年度に策定した公園施設長寿命化修繕計画（計画期間R6～R15）における公園改修・修繕の年次計画に基づき、施設や遊具の更新を実施していく。	判断理由： 令和 5 年度に策定した公園施設長寿命化修繕計画の修繕年次計画で算出した、公園施設毎のライフサイクルコストを考慮し、地域のニーズを踏まえた都市公園の新たな利活用や集約化に対応するため、都市公園ストック再編事業に取り組んでいくことを想定し、庁内において未利用地対策等を検討し、基本的な考えが整理された時点から、計画の改定と整備事業を進めていくことが最善と判断したことから、総合評価は「普通である」と判断した。	自己分析： 公園施設長寿命化計画（計画期間R6～R15）に基づき施設の維持修繕を行っているが、令和 6 年度は遊具等の更新はないが、毎年行う遊具点検結果に基づき、公園長寿命化計画にとらわれず、利用者の安全のため必要に応じて整備を進めていく。	自己分析： 公園施設長寿命化計画（計画期間R6～R15）に基づき、遊具を含む公園施設の更新を実施した。計画値が「0」のため、活動指標、成果指標共に数値は「-」と記載した。今後も毎年行う遊具点検結果に基づき、公園長寿命化計画にとらわれず、利用者の安全のため必要に応じて整備を進めていく。	判断理由： 令和 5 年度に策定した公園施設長寿命化修繕計画に基づき、遊具の更新を行ったが、今後も継続して施設の更新を行う必要があるため総合評価は「普通である」と判断した。	自己分析：	自己分析：	自己分析：	自己分析：	判断理由：			
今後の方向性				現状のまま継続				現状のまま継続									
方向性の判断理由改善、改革の内容（R5、R8、R10）		R5： 今後の都市公園のあり方の検討について、令和 8 年度から義務教育学校の開校などに伴い、地域生活拠点区域は南地区への移行が想定されること、また、学校跡地等の利用についても検討を進める時期に差し掛かってきていることもあり、住宅整備状況、市街地の未利用地の割合の増減等を踏まえた上で、じっくりと公園機能の再編・集約による都市公園の構築に向けた検討を進め、都市公園ストック再編事業を実施するための取り組みを継続していくこととする。				R8： 令和 5 年度に策定した公園施設長寿命化修繕計画（計画期間R6～R15）に基づき、公園施設の更新を適切に行う必要がある。また、今後の都市公園のあり方の検討について利用状況やニーズも踏まえ施設の在り方について集約や再編の検討が必要であることから「現状のまま継続」とする。				R10：							